



見方によって、見え方が変わる。

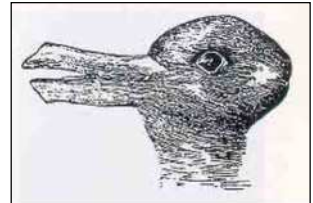
右の動物が、何に見えますか。

これは、左の部分「くちばし」と見るか「耳」と見るかで、図全体の見方が変わる不思議な絵です。

つまり、「見えている」ものは、目に映る形そのものでなく、無意識に自分の見方や思い込みが入っていることが分かります。

では、右のコップを見てください。

下半分に注目すれば「(まだ)半分ある」になりますが、上半分に注目すれば「(もう)半分ない」になります。



コップに「半分入っている」と「半分空である」とは、量的には同じである。だが、意味はまったく違う。(P・F・ドラッカー)

“ない”方にばかり目を向けて、自信を無くしたり不満をつのらせたりしている人はいませんか。反対に、“ある”方にばかり目を向けて、油断したり自信過剰^{かじょう}になったりしている人はいませんか。一つの物事を別の角度から見ると、違った一面に気づくことがあります。

●ホームラン王? それとも三振王?

「本塁打 868 本」

おうさだはる

王貞治さんが持つプロ野球ホームラン記録です。伝説の大リーガーを抜いて、今なお「世界一」に輝き続けています。

ホームランに注目が集まりがちですが、実は三振の数も記録に残っています。

「三振 1,319 回」

本塁打に注目すれば「ホームラン王」、三振に注目すれば「三振王」とも言えそうです。ホームランと三振は、紙一重^{かみひとえ}*かもしれません。

*紙一重…紙一枚の厚さほどのわずかな差

●99%か1%か、どちらを信じる?

「可能性は、1%あるんですね。
じゃあ、僕はその1%を信じます。」

サッカーの三浦知良選手^{みうらかずよし}の言葉です。夢に向かってブラジル留学^{りゅうがく}を志していた少年時代、周りの人から「お前は99%無理だ」と反対された時の台詞です。彼は15歳で^{せいの}単身ブラジルへ渡り、その後の日本サッカー界をリードする選手になりました。

後に、三浦選手はこう語っています。

「あきらめる理由を探すんじゃなくて、あきらめない理由を探せ。」

見方によって、見え方が変わる。その秘密は、どうやら「心の目」にありそうです。

新学年になって2か月が過ぎた今、うそやいつわりのない心の目で、自分自身や周りのことを見つめ直したいものです。